

透析療法指導看護師（DLN）の名称変更のお知らせ

日本腎不全看護学会 理事長 内田明子

平成 29 年 4 月 2 日の理事会で透析療法指導看護師の名称変更が承認されました。
新名称は 「慢性腎臓病療養指導看護師」 です。

DLN の略語名称変更はありません。

旧 DLN : Dialysis Leading nurse

英文表記は変更します。

新 DLN

: Dialysis care and management of chronic kidney disease Leading Nurse

平成 29 年度（平成 29 年 9 月 1 日）より名称変更致します。

混乱を避けるため、当面（1 年）は名称を以下のように併記します。

慢性腎臓病療養指導看護師（旧透析療法指導看護師）

名称変更理由

現 DLN は慢性腎臓病（CKD）において広範囲に学習し実践能力を有しています。

しかし、透析療法指導看護師の名称は、透析に限定しているため、透析療法指導看護師が実際に活動している看護実践範囲と名称とが乖離しているという現状があります。

また、DLN 資格を取得するための認定試験指定テキストおよび認定試験範囲は、慢性腎臓病（CKD）のすべての範囲、すなわち CKD ステージの 1 からステージ 5 まで、保存期から血液透析、腹膜透析、腎移植の全てを網羅しています。そのため、慢性腎臓病（CKD）の療養を支援する看護師として、名実ともに一致した名称に変更しました。

日本腎不全看護学会認定による DLN 資格は、看護協会認定看護師と同等の資格要件を設けており、一定の質を保証しています。しかし近年、本学会関連の医学会は種々の資格を創設しており、高い実践能力を有している当学会の DLN 資格を広く広報するためにも名称を変更しました。